



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日 東

上場会社名 株式会社エスクリ 上場取引所  
 コード番号 2196 URL <http://www.escri.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 岩本 博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員管 理本部長 (氏名) 高梨 宏史 (TEL) 03-3539-7654  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	18,703	10.6	411	△76.4	340	△80.1	183	△82.4
27年3月期第3四半期	16,909	22.1	1,742	17.6	1,706	18.2	1,043	19.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 181百万円(△82.6%) 27年3月期第3四半期 1,043百万円( 18.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第3四半期	15.49		15.33	
27年3月期第3四半期	88.94		87.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	24,431	5,160	21.0
27年3月期	19,930	5,121	25.6

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 5,138百万円 27年3月期 5,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
27年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
28年3月期	—	7.50	—		
28年3月期(予想)				4.50	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成28年2月12日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	25,650	10.4	770	△68.2	674	△71.3	393	△72.6	33.29	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成28年2月12日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社エスクリマネジメントパートナーズ

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	11,838,600株	27年3月期	11,821,500株
28年3月期3Q	652株	27年3月期	652株
28年3月期3Q	11,833,547株	27年3月期3Q	11,732,909株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料および四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成28年2月12日(金)に機関投資家およびアナリスト向け説明会を開催する予定です。その模様および説明内容(音声)については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとする各種政策効果が継続しているものの、中国経済の減速による景気への影響や、不安定な国際情勢などもあり、国内景気の下押し懸念は依然として残るなど、先行きには注意が必要な環境が続いております。

このような環境下、当社グループは主力事業である直営の都市型プライダル施設の拡大に加え、他社のプライダル施設の運営受託や、子会社を通じた地方を含めた新たな地域・施設への展開強化、あわせて企業買収、事業譲受を組み合わせ、プライダルマーケットにおけるシェア拡大戦略を進めております。また、グループ経営を推進する体制を強化するなど、連結業績の最大化に向けた努力を継続してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高18,703百万円(前年同期比10.6%増)、営業利益411百万円(同76.4%減)、経常利益340百万円(同80.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益183百万円(同82.4%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### (プライダル事業)

前連結会計年度に開業した宮城県仙台市の2屋号、及び東京都豊島区(池袋)の2屋号が通期稼働したことに加え、当第3四半期には、東京都港区(汐留)に「ルミヴェール TOKYO」と、沖縄県北谷町に「セントレジェンダ OKINAWA」を開業したこと、運営受託やルクリアモーレ、得ナビウエディングといったニュープライダルサービスが業績を伸ばしたこと、子会社における地方展開を進めたことなどから、売上高は14,321百万円(前年同期比14.1%増)となりました。

一方で、セグメント利益は、計画していた新規施設の開業準備コストの発生に加え、既存施設の集客が伸び悩む中、事業の急拡大にともなう人的リソース不足が重なったことなどにより、受注数や顧客単価の下落による利益減少を招いた結果、1,149百万円(同49.4%減)となりました。

#### (建築・内装事業)

建築・内装事業においては、建材の仕入価格高騰や建設現場の人材難などの要因はあったものの、大型工事の受注や利益率の高い個人住宅などの建築工事が順調に推移したことなどから、売上高は1,868百万円(前年同期比0.8%減)となり、セグメント利益は316百万円(同9.4%増)となりました。

#### (その他の事業)

その他の事業においては、平日の法人宴会サービスや、レストラン事業、宿泊事業が好調に推移したほか、株式会社渋谷におけるコンテナ事業や不動産事業の売上が順調に推移したこともあり、売上高は2,513百万円(前年同期比1.6%増)となりましたが、不動産事業の利益が対前期には届かなかったことなどにより、セグメント利益は164百万円(同50.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,501百万円増加して、24,431百万円となりました。これは主に、有形固定資産が4,088百万円増加したこと、敷金及び保証金が698百万円増加したこと、流動資産が567百万円減少したことなどによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ4,462百万円増加して、19,271百万円となりました。これは主に、長期借入金が2,032百万円増加したこと、資産除去債務が551百万円増加したこと、流動負債が1,010百万円増加したことなどによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加して、5,160百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を183百万円計上したこと、前事業年度の期末配当65百万円を実施したこと、中間配当88百万円を実施したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成28年2月12日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、連結ならびに個別の通期決算の業績予想を下方修正しております。当社のブライダル事業セグメントにおいて、既存店を中心として集客が伸び悩む中、事業の急拡大に伴う直営施設の人的リソース不足が重なったことで、当社（エスクリ）単体、特に直営店をはじめとするブライダル事業の受注数や顧客単価の下落を招き、売上高が減少いたしました。新規事業による売上のカバーはあったものの、当期の業績予想が当初の想定を下回る見込みとなったものです。

また、当該業績に鑑み、当期における期末基準日の配当金についても、あわせて修正をしております。

詳細につきましては、本日(平成28年2月12日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社エスクリマネジメントパートナーズを連結の範囲に含めております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額  
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い  
たしました。

また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得  
原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更い  
たします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行って  
おります。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連  
結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はあり  
ません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,821,803	3,756,073
受取手形及び売掛金	350,607	509,869
完成工事未収入金	209,027	5,038
商品及び製品	80,519	105,321
販売用不動産	298,822	298,368
原材料及び貯蔵品	60,958	95,294
未成工事支出金	98,036	153,783
その他	550,836	975,094
貸倒引当金	△13,762	△9,031
流動資産合計	6,456,849	5,889,814
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,998,446	10,108,594
その他	1,741,079	3,719,764
有形固定資産合計	9,739,526	13,828,359
無形固定資産		
のれん	309,738	261,321
その他	278,275	254,578
無形固定資産合計	588,013	515,900
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,554,582	3,253,339
その他	606,363	961,445
貸倒引当金	△15,182	△17,163
投資その他の資産合計	3,145,763	4,197,621
固定資産合計	13,473,303	18,541,881
資産合計	19,930,153	24,431,695

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,191,611	1,333,879
短期借入金	-	550,000
1年内返済予定の長期借入金	2,192,423	2,771,619
未払金	900,132	877,345
前受金	827,437	999,599
その他	1,884,824	1,474,164
流動負債合計	6,996,429	8,006,607
固定負債		
長期借入金	6,344,347	8,376,520
資産除去債務	1,308,055	1,859,751
その他	160,099	1,028,325
固定負債合計	7,812,501	11,264,596
負債合計	14,808,931	19,271,204
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	573,903	577,156
資本剰余金	531,903	535,156
利益剰余金	3,994,944	4,024,435
自己株式	△187	△187
株主資本合計	5,100,564	5,136,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,188	1,898
その他の包括利益累計額合計	3,188	1,898
新株予約権	17,469	22,029
純資産合計	5,121,222	5,160,490
負債純資産合計	19,930,153	24,431,695



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	16,909,154	18,703,650
売上原価	7,120,156	8,094,241
売上総利益	9,788,997	10,609,408
販売費及び一般管理費	8,046,227	10,197,511
営業利益	1,742,769	411,897
営業外収益		
受取賃貸料	3,006	3,006
為替差益	29,918	14,081
貸倒引当金戻入額	—	5,357
その他	9,543	10,648
営業外収益合計	42,468	33,093
営業外費用		
支払利息	64,289	79,962
その他	14,422	24,930
営業外費用合計	78,712	104,893
経常利益	1,706,525	340,097
特別利益		
負ののれん発生益	—	17,364
新株予約権戻入益	3,142	—
特別利益合計	3,142	17,364
税金等調整前四半期純利益	1,709,667	357,461
法人税、住民税及び事業税	681,443	189,964
法人税等調整額	△15,283	△15,792
法人税等合計	666,160	174,172
四半期純利益	1,043,507	183,289
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,043,507	183,289

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	1,043,507	183,289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	462	△1,289
その他の包括利益合計	462	△1,289
四半期包括利益	1,043,970	181,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,043,970	181,999

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	ブライダル	建築・内装	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,551,701	1,884,315	14,436,016	2,473,137	16,909,154	—	16,909,154
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,819,969	1,819,969	52,055	1,872,024	△1,872,024	—
計	12,551,701	3,704,284	16,255,985	2,525,192	18,781,178	△1,872,024	16,909,154
セグメント利益	2,272,138	289,080	2,561,218	331,700	2,892,919	△1,150,150	1,742,769

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宿泊事業及び宴会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,150,150千円には、セグメント間の未実現利益の調整額△74,820千円、のれん償却額△43,968千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,031,361千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	ブライダル	建築・内装	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,321,264	1,868,612	16,189,877	2,513,773	18,703,650	—	18,703,650
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,474,426	2,474,426	57,026	2,531,452	△2,531,452	—
計	14,321,264	4,343,039	18,664,303	2,570,799	21,235,103	△2,531,452	18,703,650
セグメント利益	1,149,550	316,130	1,465,681	164,916	1,630,598	△1,218,701	411,897

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、宿泊事業及び宴会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,218,701千円には、セグメント間の未実現利益の調整額△126,127千円、のれん償却額△52,909千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,039,664千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 第1四半期連結会計期間において、みや美株式会社の全株式を取得しており、「ブライダル」の区分に含めて記載しております。また、第2四半期連結会計期間において、平成27年7月に設立した株式会社エスクリマネジメントパートナーズを新たに連結子会社としており、「ブライダル」の区分に含めて記載しております。